平成２６年度　　事務事業評価シート

章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	Ⅱ	文化の保存・継承
目標		文化財や郷土芸能などの文化遺産の積極的な保護と活用に努める。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	歴史や文化講座の参加者数	人	1,047	1,021	1,237	1,035	1,287	1,023	－	1,400
指標②	歴史文化施設（郷土資料館・埋蔵文化施設等）入館者数	人	3,400	4,562	5,491	4,926	4,975	5,108	－	4,500

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　歴史の伝承と活用	①　社会教育施設の充実と有効活用	・登別市に残された先史から現代に至るまでの歴史や文化を学ぶことのできる郷土資料館で展示や歴史学習の充実を図ります。 ・幌別鉱山の歴史をネイチャーセンターで伝えるなど、既存施設の有効利用と維持補修に努めます。 ・遺跡（埋蔵文化財）について学ぶことのできるのぼりべつ文化交流館で展示や学習の充実を図ります。
1-②	1　歴史の伝承と活用	②　埋蔵文化財の保管、展示施設の整備と学習会の開催	・埋蔵文化財出土品を適切に保管、展示し、児童・生徒や市民が体験学習できる施設の整備を進めます。 ・市内の埋蔵文化財等について調査・研究を進めるとともに出前講座などの学習会等を開催して子どもたちや市民が登別市の歴史を学べる機会を拡充し、周知を図ります。 ・郷土史関係者との連携や、デジタル化等による資料の保存を図ります。
1-③	1　歴史の伝承と活用	③　地域文化や民俗芸能に触れる機会の支援	・地域文化を学ぶ機会を提供するとともに、地区の歴史を知る方との懇談会等を開催し地区の歴史を伝承します。 ・子どもたちが学校や地域で継続的に民俗芸能に触れる機会の取組を支援するとともに、民俗芸能を継承するための映像保存を進めます。
1-④	1　歴史の伝承と活用	④　温泉の歴史、文化を活用した事業	・観光協会や温泉資源の学術研究を行う大学などの研究機関との連携を図り、温泉の歴史や文化を活用した事業の展開を進めます。 ・情報通信技術などを積極的に利用して、国内外への情報発信に努めます。
2-①	2　アイヌ文化の振興	①　アイヌ文化に関する調査研究、記録の保存	・アイヌがこの地で培った自然観や食などの生活文化、また、アイヌ語地名や遺跡などを将来にわたって伝承するため、各種活動団体と協力し、調査研究、記録保存を進めます。
2-②	2　アイヌ文化の振興	②　伝統芸能、工芸に触れる機会の充実	・アイヌ文化の普及を図るため、市民が伝統的な芸能や工芸、口承文芸などを学ぶ機会を充実します。
2-③	2　アイヌ文化の振興	③　市民講座の開催、小、中学校への情報提供	・市民がアイヌの文化と歴史を総合的に学ぶことができる市民講座などを開催するとともに、小、中学校へ情報提供を行い、理解を深めます。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等（※ハード事業の場合は、施設名を記載）	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標：指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
1	1-①	郷土資料館運営管理経費 53211001	教育委員会	社会教育G	S56	－	ソフト	一般会計	郷土に関する資料を市民に供することにより、ふるさと登別を愛する心を育てることを目的とする。	H24	郷土資料館利用者	郷土の歴史、民俗、産業文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行った。 【収集資料】：寄贈10件(4,329点)、寄託１件(715点) 【特別展】：４回 【イベント】：わんぱくサムライ体験	郷土資料館条例、郷土資料館条例施行規則	入館者数	人	3,102	3,211	3,500	3,500	3,500	3,500
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【収集資料】：寄贈10件(1,078点)、寄託１件(６点) 【特別展】：４回 【イベント】：わんぱくサムライ体験	上記のとおり								
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中 【収集資料】：寄贈３件(5月末日現在) 【特別展】：７回(予定) 【イベント】：わんぱくサムライ体験	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－
2	1-①	文化伝承館運営管理経費 53211002	教育委員会	社会教育G	H8	－	ソフト	一般会計	郷土の歴史や文化を伝承することにより、市民の教育・文化の向上を図ることを目的とする。	H24	文化伝承館利用者	文化伝承館を運営し、郷土の歴史や文化に関する学習会等を開催した。 体験事業：17回	登別市文化伝承館条例、登別市文化伝承館条例施行規則	体験事業参加者	人	284	234	250	250	250	250
										H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－
3	1-②	文化財保護経費 53212001	教育委員会	社会教育G	S45	－	ソフト	一般会計	郷土を形作る文化財の保護と活用を図ることにより、ふるさと登別に対する理解を深め、大切にする心を養うことを目的とする。	H24	市民	市民に対する指定文化財等の周知、文化財の保護活動、活用等を実施した。 【実施事業】 ○市内の文化財の保護・管理 ○市指定文化財登録解除（札内神楽獅子舞）１件 ○講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書）14件 ○埋蔵文化財事前協議　２件 ○遺跡の変更・登載手続き、刀剣類・史跡名勝天然記念物等の事務手続き　等	文化財保護法、登別市文化財保護条例・登別市文化財保護条例施行規則	登別市指定文化財数（年度ベース）	件	6	6	7	8	8	8
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【実施事業】 ○市内の文化財の保護・管理 ○講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書）11件 ○埋蔵文化財事前協議　１件 ○史跡名勝天然記念物等の事務手続き　等	上記のとおり								
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定 今年度は、姉妹都市である宮城県白石市などとの歴史資料の貸借を含む歴史交流事業に積極的に取り組む。	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】

NO	年度	名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
1	H24	国庫支出金							
		道支出金							
		地方債							
		その他	郷土資料館入館料	143	173	173	173	173	173
		一般財源		1,855	1,943	2,209	2,209	2,209	2,209
		合　計		1,998	2,116	2,382	2,382	2,382	2,382
2	H24	国庫支出金							
		道支出金							
		地方債							
		その他	文化伝承館体験学習等教材費負担金	66	58	66	66	66	66
		一般財源		189	203	249	249	249	249
		合　計		255	261	315	315	315	315
3	H24	国庫支出金							
		道支出金							
		地方債							
		その他	ふるさとまちづくり基金積立金繰入金			30			
		一般財源		338	150	547	577	577	577
		合　計		338	150	577	577	577	577

Check / Action

NO	年度	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
1	H24以前	平成24年度は、所蔵資料の正確な点数・状態の把握のため、データベース化を行い、市民から寄贈された貴重な資料を後世まで適切に保存し、登別市の文化資源として活用することができるようにした。		維持	登別市の貴重な歴史資料を収集・保存・展示する施設であり、貴重な資料を後世に残すため、経費や労力を要するのはやむを得ない。市民にとっては郷土の歴史を知ることのできる場であり、市外の方には所蔵資料を通じて登別市の歴史や魅力に触れることのできる場となっており、市が主体的に行うべき事業である。	郷土に関する資料を市民に供し、ふるさと登別を愛する心を育てるため、今後も継続して郷土に関する資料の収集、保管、展示を行う郷土資料館の運営管理を行うとともに、魅力ある博物館作りのため常設展示の一部入れ替えや企画展の開催等を行っていく。
	H25	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。				
	H26	上記のとおり				
2	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。		維持	ぞうり作り、べこもち・らくがん作りなどの体験を通して、市民に郷土の歴史や文化に触れる機会を提供しており、市が主体的に行うべき事業である。	今後も、郷土資料館ボランティアグループSLGとともに体験学習の内容の充実を図っていく。
	H25	上記のとおり				
	H26	上記のとおり				
3	H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。		維持	地域に根ざす心豊かな生活を送るために、ふるさと登別に関連する文化財の保護・活用は、地方公共団体の責務であるため、今後も維持していく必要がある。	今後も、登別市を形成している多様な文化を理解するため、埋蔵文化財、古文書など、市が保有する文化財の保護・活用を図っていくとともに、登別市と歴史的関係の深い地域との調査研究を含めた積極的な交流も進めていく。
	H25	上記のとおり				
	H26	「市民が記憶する歴史収集事業（53212008）」と統合した。また、これまでの事業に加え、宮城県白石市との歴史交流事業に積極的に取り組むこととしている。				

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H27以降】
4	1-②	のぼりべつ文化交流館運営管理経費	教育委員会	社会教育G	H19	－	ソフト	一般会計	埋蔵文化財に接する機会を設けることにより、郷土に対する目的理解を深めるとともに、作品展示の場を設けることで市民の文化活動の向上を図ることを目的とする。	H24	文化交流館利用者、体験学習参加者	市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習、貸館利用として市民の作品展示などを行った。 【体験学習】７回 【ガイド対応】団体４件、市内小学校４件、市外小学校４件 【イベント】縄文どきどきまつり	のぼりべつ文化交流館条例、のぼりべつ文化交流館条例施行規則	のぼりべつ文化交流館利用者数	人	3,206	4,538	3,200	3,200	3,200	3,200	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	登別市の貴重な歴史資料を収集・保存・展示する施設であり、貴重な資料を後世に残すため、経費や労力を要するのはやむを得ない。市民にとっては郷土の歴史を知ることのできる場であり、市外の方には所蔵資料を通じて登別市の歴史や魅力に触れることのできる場となっており、市が主体的に行うべき事業である。	今後も魅力ある博物館作りのため常設展示の一部入れ替え等を行い、文化交流館の充実に努めていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【体験学習】７回 【ガイド対応】団体７件、市内小学校５件、市外小学校１件 【イベント】縄文どきどきまつり	上記のとおり								地方債								H25	上記のとおり			
														のぼりべつ文化交流館体験学習参加人数	人	183	131	150	150	150	150	その他	のぼりべつ文化交流館使用料・のぼりべつ文化交流館体験学習等教材費	289	307	281	281	281	281					
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり								一般財源		3,436	2,587	3,089	3,089	3,089	3,089	H26	上記のとおり			
		53212003																				合 計		3,725	2,894	3,370	3,370	3,370	3,370					
5	1-②	のぼりべつ文化交流館整備事業	教育委員会	社会教育G	H24	－	ハード	一般会計	施設の老朽化部分の改修を図ることにより、埋蔵文化財の展示・体験や絵画などの展示、および集会施設として市民の利用に供することを目的とする。	H24	文化交流館利用者	防災アンプ、火災報知器受信機の交換工事を実施した。	のぼりべつ文化交流館条例、のぼりべつ文化交流館条例施行規則	のぼりべつ文化交流館利用者数	人	3,206	4,538	3,200	3,200	3,200	3,200	国庫支出金	地域の元気臨時交付金		1,055					H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	休止	施設の老朽化が著しいことから、施設の安定的な利用と延命に必要な修繕等の整備を今後も継続していく必要があるが、現在、緊急的に修繕を必要とする箇所がないことから、事業を休止する。	施設の安定的な利用と延命化に必要な修繕等を行っていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	受変電設備の改修工事を実施した。	上記のとおり								地方債		1,900	4,900						H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H26	上記のとおり	予定なし	上記のとおり								一般財源		1	629	0	0	0	0	H26	上記のとおり			
		53212007																				合 計		1,901	6,584	0	0	0	0					
6	1-②	市民が記憶する歴史収集事業	教育委員会	社会教育G	H23	H25	ソフト	一般会計	文字等の記録に残されていない市内の様々な事象に関する情報を収集し、記録することにより、その内容を後世に伝えることを目的とする。	H24	市民	登別市の過去を経験・記憶している方を情報提供者として、聞き取り調査を行い、その内容を明文化した。 ・聞き取り調査 ・記録音声の文字化 ・文字化資料のデータベース化等	－	聞き取り回数	回	10	2					国庫支出金								H24以前	平成23年度に緊急雇用創出推進事業にて開始。	維持（統合）	事業の実施により、これまで市史等に記録されてこなかった市内の様々な出来事を記録し、当市の将来への重要な文化遺産として残すことができた。 今後は記録したデータのさらなる取りまとめ、またその都度聞き取り調査を実施していくこととするため平成26年度から「文化財保護経費」（53212001）と統合した。	今後も聞き取り調査は、当市の歴史を様々な視点から残していくうえで重要な取り組みであり、また将来的に価値のある文化遺産と判断できることから、「文化財保護経費」（53212001）に統合し、継続的に取り組んでいく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	市内５箇所において巡回展示のほか、聞き取り調査も実施した。 【事業内容】 聞き取り調査 記録音声の文字化 地図、航空写真の整備 巡回展示イオン：登別店など６箇所	－								地方債								H25	平成23・24年度の２ヵ年にわたる聞き取り調査の結果を市民に還元するために、市内で巡回展示を実施し、郷土に対する関心の育成を図った。			
																						その他													
														展示回数	回	0	6					一般財源		50	246										
										H26	－	－	－									合 計		50	246	0	0	0	0	H26	－			
		53212008																																	
7	2-②	アイヌ文化講座経費	保健福祉部	社会福祉G	H9	－	ソフト	一般会計	市民にアイヌ文化を伝承し、アイヌ民族への理解・関心を深めてもらうことを目的とする。	H24	アイヌ協会登別支部	刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成講座を開催した。 【アイヌ文化講座詳細】 ・内容：アイヌ刺繍 ・回数：10回		講習会への延参加人数（10回）	人	97	108	200	200	200	200	国庫支出金								H24以前	アイヌ文化講座の内容について、毎年内容の検討を行い、事業実施しておりますが、事業の方向性に変更はありません。	維持	アイヌ文化講座を実施することにより、アイヌの伝統作品の種類や、どのような材料を使用しているかを市民に周知することができた。	今後もアイヌ文化の普及のため、継続して補助を行っていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成講座を開催した。 【アイヌ文化講座詳細】 ・内容：かご編み ・回数：10回									地方債								H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H26	上記のとおり	刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成講座を開催予定 【アイヌ文化講座詳細】 ・内容：アイヌ文様刺繍 ・実施回数：10回									一般財源		280	280	280	280	280	280	H26	上記のとおり			
		53222001																				合 計		280	280	280	280	280	280					
8	2-②	アイヌ民族文化祭補助金	保健福祉部	社会福祉G	S63	－	ソフト	一般会計	アイヌ民族の尊厳の確立、文化の保存・伝承することを目的とする。	H24	社団法人北海道アイヌ協会	社団法人北海道アイヌ協会が主催しているアイヌ民族に関連する事業推進のため補助金を交付し支援した。 【主な事業】 アイヌ古式舞踊、民族衣装の展示紹介、ムックリ演奏体験等		参加者延人数	人	307	160	700	700	700	700	国庫支出金								H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	補助金を支出することにより、アイヌ民族文化祭を円滑に開催することができ、アイヌ文化の振興、アイヌ民族の周知につながる。	今後もアイヌ民族の文化の保存・伝承するため、今後も継続して補助を行っていく。
																						道支出金													
										H25	上記のとおり	上記のとおり									地方債									H25	上記のとおり			
																						その他													
										H26	公益社団法人北海道アイヌ協会	公益社団法人北海道アイヌ協会が主催しているアイヌ民族に関連する事業推進のため補助金を交付し支援する。		－	－	－	－	－	－	－	一般財源		30	30	30	30	30	30	H26	上記のとおり			
		53222002																				合 計		30	30	30	30	30	30					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別
9	2-③	アイヌ文化普及啓発事業補助金 53223001	保健福祉部	社会福祉G	S58	ー	ソフト	一般会計

Plan ・ Do

事業概要

事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
アイヌ民族の社会的地位向上、文化の保存・伝承することを目的とする。	H24	北海道アイヌ協会登別支部	・アイヌ文化の普及・啓発のため、アイヌ協会登別支部が実施する事業の一部に補助金を交付し、支援した。 【北海道アイヌ協会登別支部の主な業務】 アイヌ文化伝承活動や各種行事の事業実施準備のための電話による連絡業務、各地で研修を兼ねて行なうアイヌ民俗祭・古式舞踊による交流、アイヌ民族衣装展で展示する衣装ケース借上げ、事業実施時に使用する書類の印刷等	
	H25	上記のとおり	上記のとおり	
	H26	登別アイヌ協会	アイヌ文化の普及・啓発のため、登別アイヌ協会が実施する事業の一部に補助金を交付し、支援する。	

事業の成果、目標

指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
アイヌ民族祭、古式舞踊参加者延人数	人	923	691	1,600	1,600	1,600	1,600
ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】

名称		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
国庫支出金							
道支出金							
地方債							
その他							
一般財源		200	200	200	200	200	200
合 計		200	200	200	200	200	200

		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案
全会計 合計	国庫支出金	0	1,055	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	1,900	4,900	0	0	0	0
	その他	498	538	550	520	520	520
	一般財源	6,379	6,268	6,604	6,634	6,634	6,634
	合計	8,777	12,761	7,154	7,154	7,154	7,154
一般会計 合計	国庫支出金	0	1,055	0	0	0	0
	道支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	1,900	4,900	0	0	0	0
	その他	498	538	550	520	520	520
	一般財源	6,379	6,268	6,604	6,634	6,634	6,634
	合計	8,777	12,761	7,154	7,154	7,154	7,154
区分【再掲】		H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案

Check

第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	市が補助することで、登別アイヌ協会の各種行事の情報伝達や、事業実施を円滑に行うことができるため、アイヌ文化の保存・伝承、アイヌ民族の社会的地位向上に寄与することができる。
H25	上記のとおり		
H26	上記のとおり		

Action

今後の事業の方向性【H27以降】
アイヌ文化の保存・伝承のため、今後も継続して補助を行っていく。